

会議報告書

令和3年2月24日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

(1) 概要

議 題	2/10：「(仮称) 峰高エリア 100」整備の WS 開催に関する高校生との WS 2/23：WS 後のルーツスタッフとの協議
日 時	令和3年2月10日 午後4時～午後5時30分 令和3年2月23日 午後1時～午後2時30分
場 所	2/10：峰高大会議室・roots 事務所・丹後探究舎事務所 2/23：roots 事務所
出席者	2/10：石嶋・田崎・本城・堀・吉岡・安達・今田事務局長・川淵・稲本・能勢・小林・坂田・大垣・峰高生11人(生徒会役員) 2/23：石嶋・田崎・本城・川淵・稲本・能勢・小林・坂田・大垣・豊浦(峰高生)

(2) 会議内容

2/10：峰高生徒会役員10名参加のワークショップ ^o (1回目) <ul style="list-style-type: none">・生徒との WS について、コロナ渦の緊急事態宣言中でもあることからリモート WS の手法で開催・生徒会役員(約20人中の2年生は当日模試のため1年生中心で1人2年生が参加)が参加・午後3時から直前準備を ROOTS 事務所で行い生徒と能勢さん・稲本さんは校舎大会議室で部会員及び ROOTS スタッフ等は ROOTS 事務所と丹後探究舎事務所に分かれて実施<ul style="list-style-type: none">・事前に学校内で探究活動を行う能勢さんや ROOTS 事務所ですべての生徒へある程度の主旨を伝えて参加してもらった・2/8 の事前見学協議によりコロナ渦の感染予防策で生徒全員にタブレット(マイク付きイヤホン購入)にて向かい合わずに行うこととなる(先導役の稲本さんと能勢さんがリモート支援も兼ねる)
2/23：WS 開催の振り返り・今後のスケジュール共有・今後の協議手法についての協議

(3) 意見交換内容

2/4 高校生とのリモート WS <ul style="list-style-type: none">○参加者の自己紹介(参加者からは、各自の高校時代の思い出も交えて自己紹介)○ワークショップ開催の主旨(事前に配布した在校生の皆さんへの資料により概要説明)○エリア100の対象となる「家庭経営室」を写真で紹介(改めて現地の確認)○生徒はそれぞれのタブレットのまま2つに分かれる(ROOTS 事務所と探究舎事務所)○探究舎グループの生徒意見概要(坂田・大垣・田崎・本城・安達)<ul style="list-style-type: none">・コジマ君：みんなが勉強を忘れて集まれる場所、購買があるけどスペースとしてあると良い・カナモリ君：サービスエリアに連想されるジュース自販機の設置や全校生徒が使える(使いやすい)場所<ul style="list-style-type: none">☆部屋に畳があったり区分する色分けをすることについてはどうかな?→特になし☆教室以外で弁当を食べるとしたらどこですか?→大きな木の下にベンチがあるので○ルーツグループの生徒意見概要(川淵・小林・石嶋・今田・堀・吉岡)<ul style="list-style-type: none">・コバヤシさん：生徒が安心して使える場所。友達と一緒に楽しめる場所(冷暖房が効いている部屋・ピアノがあると良い)<ul style="list-style-type: none">・豊浦さん：クラスや全校生が勉強目的以外でも使える場所、自習室とすると3年生が使う。iPadがあれば便利(校内でのスマホ操作ができない)。図書室は使われていない。・クボさん：自習室は3年生が使う場所となっているので、何でも(勉強以外)出来る場所・マツオさん：気が抜けないので校舎内のくつろげる場所(靴を脱いで上がれる)おしゃべりができる場所。曜日や時間を決めて使うようにしてはどうか○リモートの操作時間や初めての WS であり一方的なイメージや思いを聞く時間となった○WS の成果として100周年記念の校舎整備が計画されていることの認識は明確にされた○今後生徒との協議を継続して整備内容を具体化することを伝えた
2/23 第1回ワークショップの振り返り協議(参加した豊浦のぞみさんが同席) <ul style="list-style-type: none">○振り返り(探究舎グループ)

・リモートであったことから生徒から意見が聞き出せなかった
・ほぼ1年生の参加者であったことから、学年の差があるのでみんなが集まれる場所が欲しい。
自習室はで3年生がほとんど使っている。

・ハコバンでパンやジュースを販売に来ているがエリアにジュースの販売機があれば良いとか大きな木の下ベンチでの弁当を食べるのは気持ちがいいというのは印象的

○振り返り (ROOTS グループ)

・それぞれの意見が聞けた (参加者の意見があった。制約があったがやり取りも多少はできた
・もっと必要なもの・購入するもののヒントが聞けたらよかった
・くつろげる場所のイメージが印象的で、生徒のみんなが話す場所・曜日や時間で部屋の運営などを生徒会でルール作りもあつては良いのではと思った

☆運用手法として、クラブ活動の部屋のように使う生徒の自主性が発揮できるなど学校のルール上で活用方法を検討するのはどうか

○高校生と進行役グループ

・話しにくい雰囲気 (囲んではなすことができない、タブレットとイヤホンと生声が交錯)
・高校生同士の話ができなかった (進行役ではなくタブレットの操作にしようがほとんど)
・学年に関係なく部屋の使い方を決めて活用する。BGMがあると良い。みんなが肩の力を抜いて落ち着ける場所。生徒会で清掃管理が必要かな。整備後の生徒や先生のかかわり方 (管理)

○スケジュール感の共有

・来年1月12日に式典後にお披露目 ・来年8月頃に整備工事着手完工 ・来年春には工事発注事務 ・12月には寄付行為の最終申請及び整備内容確定 (募金状況との関係協議終了)
・3月意向に生徒とのWS開催 3回目WSでは整備原案図面の提供で具体化
・今春の募金募集案内については、現状で生徒とのWS活動を紹介
・来年の3回目の募金案内に設計図面の利用となるか (途中は原案図面の持ち歩き説明資料)

○今後の活動について

・生徒会としての活動とするのは担当の先生から現状で活動ができていないので厳しい
・生徒会役員以外に ROOTS に立ち寄る生徒へも事前に話しているので有志の活動に
・高校生による運営などのルール作りやフリースペース運営実践のクラブ活動とすることも
・学校のルールの下おこなうには、活動自身が生徒の役に立つ・経験につながる
・クラブ活動では限られた生徒のみの利用になりがちだから同窓会としては厳しい
・同窓生との何らかの関りが生まれたり、同窓生が使えることが必要
・生徒がエリアでの自主活動で同窓生へのアピールや関りが出ることがあれば
・高校生がコディネートすることを実践する場所
・意見集約にはもう少し時間や機械が必要

☆生徒会役員に加えて意識のある生徒の有志を募ってプロジェクトチームを設ける

☆2月中に能勢さんから全校生徒へ案内する (PJの概要・目的などを明確にして)

☆PJとROOTS事務所などで整備内容や運営などを協議して部会員との協議にしては

☆PJと部会協議を通して大垣君から4月には原案図面を作成できるかも (募金案内同封無理)

☆緊急事態宣言が開ける3月下旬の終業式終了後の日程でPJ生徒と部会員とのWSを開催

○ROOTSとして高校生との地域振興を進める活動として、高校生のPJを活かす費用募集 (クラウドファンディング) の実施も検討したい (川淵君の友達が東京にての活動との連携も)

☆記念事業部会としては、今日の協議内容を3月上旬に状況報告の事業部会開催を予定する

(4) 備考

実行委員会とは別に ROOTS 主導で高校生の活動実現費用募集 (クラウドファンディング) について、100周年実行委員会としての確認は必要 (実施となったら・・・)

別紙資料「峰高在校生の皆さまへ」